



時空を超越し 自分の慧眼を磨き続ける

健康科学研究科 博士後期課程 1年

杉本 一生

SUGIMOTO ISSEI

私は本学の図書館でステキな言葉や重要な知見に度々出会っています。その出会いは私にとって、ある種の時空を超越したものであり、自分の慧眼を磨くことに繋がっています。

あるステキな言葉との出会いは、私が本学の理学療法学科学生時代に図書館にふらりと立ち寄った時です。その言葉は図書館 1 階エレベーター前の、とある先生のおススメ本コーナーの中がありました。それは「μεράκι (メラキ)」というギリシャ語で、「なにかに、自分の魂と愛情を、めいっぱい注いでいる。」というギリシャの文化を意味します(翻訳できない世界のことば、前田まゆみ訳、より引用)。その時、このような素晴らしい言葉が世界に存在する幽玄さに感動したことを今でも覚えています。

重要な知見とは、理学療法士/大学院生として現在進行形で出会い続けています。私は病院に勤務しながら、本学の大学院生として研究活動を行わせていただいております。臨床現場でも研究活動でも、経験を積むと同時に先行文献から知見を得て自分をアップデートすることが重要です。そこで、図書館の豊富な蔵書や文献検索データベースに助けられています。最近では多くの書籍や論文が紙媒体だけでなく電子媒体としても閲覧で

きます。様々な媒体や場所から過去～最新の知見にアクセスできることは、私が子どもの頃ではあり得ませんでした。この恵まれた環境にはいつも感謝しています。

このように、図書館では様々な人や時代に示された言葉や叡智に出会うことができます。大袈裟かもしれませんが、それは時空を超えた素晴らしい出会いとも言えますし、常に自分の慧眼が磨き続けられています。本学の図書館には私たちの学びを助ける専門書や、素晴らしい文学作品が豊富に所蔵されています。そして豊富な文献検索データベースを駆使すれば、より高度な知識にアクセスできます。ぜひ、本学の図書館を利用される皆様におかれましても、自分なりのステキな利用方法を探してみてくださいね。



『翻訳できない世界のことば』
エラ・フランシス・サンダース著
前田まゆみ訳 創元社 801.4||Sa62